

ご存知ですか？ 水景園の日本庭園！

ふるさと案内人と行く 2014

第16回 ふるさと発見の旅 吐師の里から紅葉の けいはんな記念公園を訪ねて

開催日：11月22日（土）

集合：午前9：00 近鉄山田川駅前
解散：午後3：00頃 けいはんな記念公園

《コース 約5km》

近鉄山田川駅 → 若宮神社 → 大宮神社 → 七ツ塚古墳群 → 天王神社 → 畑の前遺跡
→ けいはんな記念公園 → (水景園にて昼食) → 公園内散策・紅葉見学等 (解散)



主催：公益社団法人 精華町シルバー人材センター ふるさと案内人の会

後援：精華町 ・ 精華町教育委員会



吐師村と神社

この吐師村は、古代より木津川の河川港として、また古山陽道・古山陰道の交通の要所として人の行き来が盛んであった。平城京より平安京に都が移ったのちも、春日行幸など奈良と京を行きかう人々で賑わっていた。

江戸時代のこの地域の領主は、禁裏や公家そして京大坂に赴任した旗本の領地となっている。この吐師村は禁裏御料が 582 石、公家伏原家が 25 石、旗本大岡氏が 80 石、幕府領が 22 石となっている。

この旗本大岡氏は、祝園村・植田村・山田村・相楽村にも領地をもち、山田村の福井氏が在地代官をしておられたそうだ。

村の氏神様としては二つの神社があるが詳細は不明。

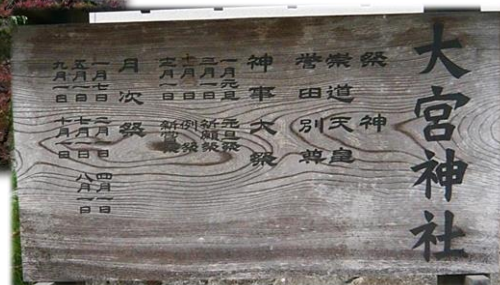
吐師村の若宮神社（社格：村社）

御祭神：月読命、稲田姫命

西吐師村の大宮神社（社格：村社）

御祭神：崇道天王、誉田別尊

*崇道（すどう）天皇：桓武天皇の弟早良（さわら）親王。奈良時代末期の皇族で光仁天皇の皇子。生母は高野新笠で、桓武天皇・能登内親王と同母弟。追称は崇道（すどう）天皇であるが皇位継承をしたことはないので歴代天皇には数えられない。



<吐師七ツ塚古墳群>

遺跡の概要

吐師七ツ塚古墳群は、相楽郡精華町との市町界を間近に控えた木津川市西北部の低台地上に立地する古墳時代中期後半(5世紀)から後期(6世紀)にかけての地域の首長の墓とされる中規模(全長 30~50m)の古墳が七つ集まった古墳群である。

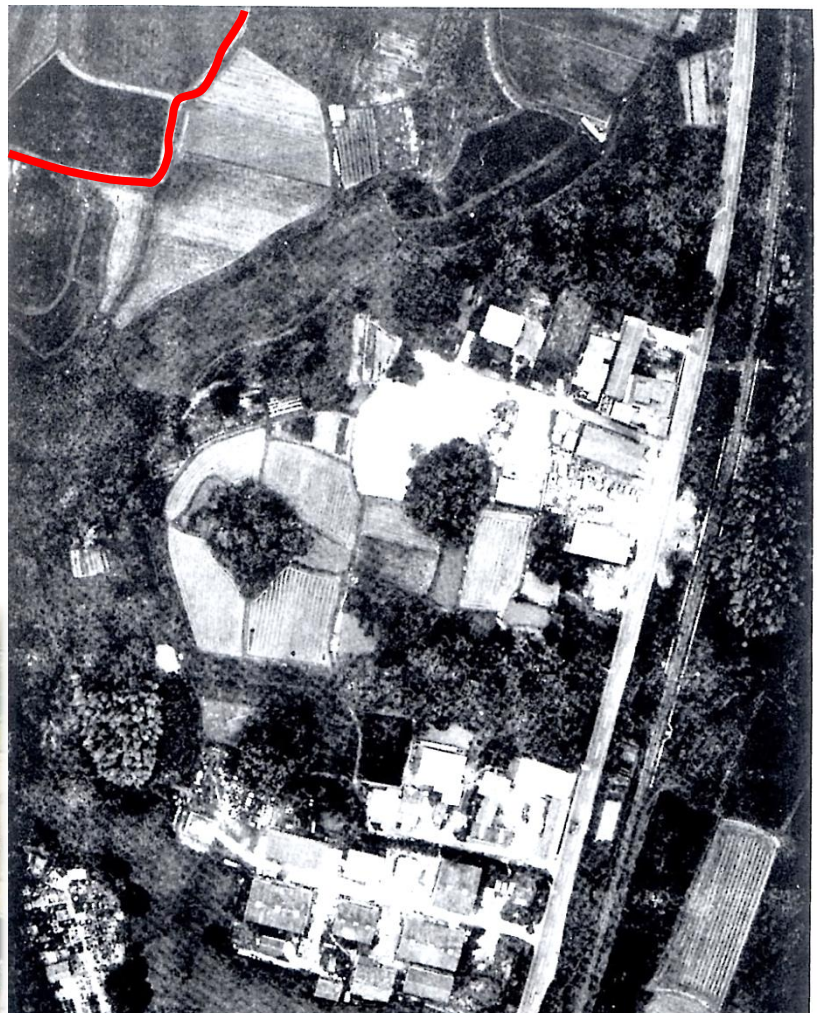
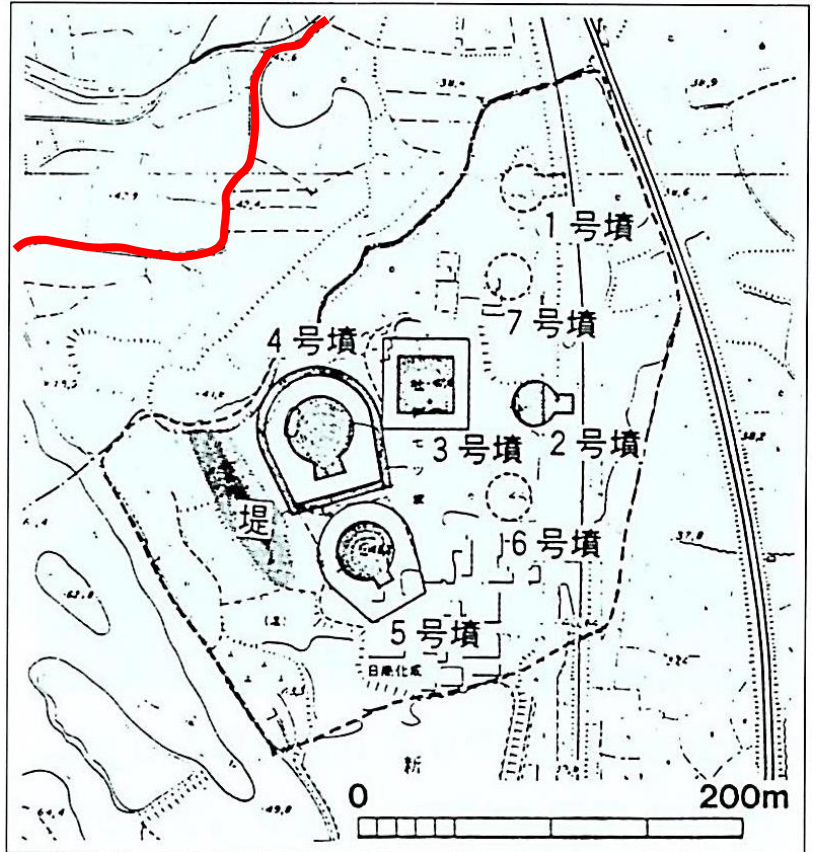
1・2号墳は既に消滅し現在は府道とJRに断ち切られているが、全長 25~40mの帆立貝式古墳(前方後円墳の前方部が短いもの)と考えられている。3号墳は群中唯一の方墳で一辺 30m前後、周囲に空濠(幅 8m・深さ 0.3m)がある。4・5号墳は周りに濠をめぐらせた全長 30~40mの帆立貝式古墳で周濠を含めると全長 50~60mになる。七ツ塚と称するが6・7号墳の所在は不明である。

この古墳群は目立つ存在であったようで、江戸時代から4基(2~5号墳)が知られており、『山城名跡巡行志』ではこのうちの1基を長塚と称し、藤原百川の「相楽墓」、その妻の「後相楽墓」に擬していた。明治に至って『大日本地名辞書』を著した吉田東伍は「丸山墓四所」として紹介した。明治38年(1905)、岩井武俊が『考古界』にかつては7基あったということから「七塚」として紹介した結果、以後この名前が古墳群の名前として定着した。

各墳からは埴輪や銅鏡、ガラス玉、石製模造品(鏡・斧頭・刀子)等が出土している。

遺跡の現状

昭和の頃までは周辺の水田も耕作され周濠の様子もよくわかる状態であったが、最近では農業機械や自動車の通行可能な道が無いこともあって、水田は耕作放棄、あるいは駐車場等へ転用されてきている。また、古墳群の立地する台地上は市街化調整区域であるが、制限を受けない病院の建設も行われるようになってきている。周辺ではニュータウン建設も行われており、古墳群北側の精華町域も市街化区域となっていることもあり近年、開発が進み古墳としての姿がなくなりつつある。



<天王神社>天王神社(てんのうじんじゃ)

たけはやすきのおのみこと
御祭神：建速須佐之男命
あちのきたかひのみこと
阿智之岐高彦命

神事： 1月 1日 元旦祭
4月 3日 春季大祭(祈念祭)
10月17日 秋季大祭(例祭)
11月23日 感謝祭(新嘗祭)

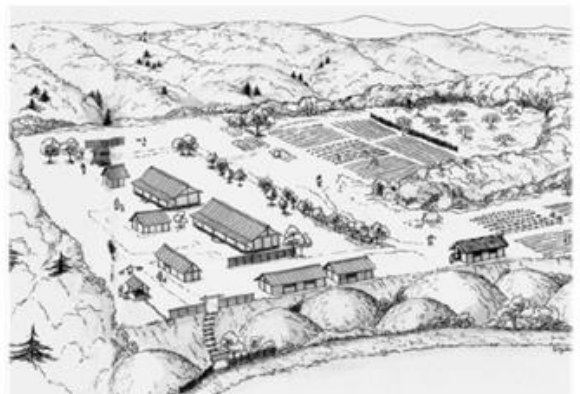
神社の由緒は不明であるが、元は菅井集落の東側小字古里に在ったが、集落の移転と共に現在地に移った模様である。講としては、天王講(約40戸)・朔日講(約20戸)が有り、神事が執り行われている。



はたのまえいせき
畑ノ前遺跡

昭和59~60年(1984~1985)と昭和63~平成元年(1988~1989)に発掘調査が行われた。下記①②③の複合遺跡が見ついている。

- ① 弥生時代中期(紀元前100~西暦100)の約2千年前の集落跡直径6~8mの竪穴式住居跡10棟。
- ② 古墳時代後期(6世紀前半~7世紀前半)約1400年前の古墳群川原石を使った特異な横穴式石室を持つ小規模な円墳7基。
- ③ 奈良時代の建物跡(7世紀後半~8世紀前半)23棟分の柱跡と宅地東南隅から直径1.14m、長さ3.54mのヒノキの丸太をくりぬいた井筒。(井戸の深さは7mに達する大規模なもの)



8世紀前半ごろの畑ノ前遺跡復元予想図

※写真：せいか歴史物語より

〈けいはんな記念公園・水景園〉

けいはんな記念公園（正式名：関西文化学術研究都市記念公園）の概要

1 諸元

- ◆面積：24.1ha
- ◆総事業費：52 億円（土地代を除く）
- ◆開園：平成 7 年 4 月 29 日
- ◆所有：京都府
- ◆管理：指定管理者>>植彌加藤造園 株式会社

会社概要

創業嘉永元年(1848)、初代加藤吉兵衛が大本山南禅寺の御用庭師を務めて以来、京都の洛東鹿ヶ谷の地にて代々造園業を営んでいる。史跡名勝の指定を受けている文化財庭園の維持管理、寺院庭園・別荘庭園・公共庭園の伝統技法による整備、管理とともに、各種住宅庭園の施工管理も手がけ、また近年、花や緑に対する意識の高まりに応じて、公園や街路、河川敷といった都市緑化はもちろんのこと、自然配色技術を活かした社寺林の災害復旧やメンテナンス、指定管理者としての公園管理運営などをおこなっている。

…HP 掲載文より引用

- ◆入園者数：全体で約 60 万人、水景園が約 8 万 ※指定管理業務開始前に比べ、3 倍弱の集客を達成。

2 趣旨

◆背景

- ①関西文化学術研究都市の建設を記念する公園（特に関西の文化を体感でき、国際交流にも対応できる公園として。また、まちづくりのテーマであった環境共生を実現する公園として整備された。）
- ②平安建都 1200 年事業の記念庭園整備（京都造園界の総力をあげて整備した日本庭園。京都の大切な資産を守り育て、発信する役割を持つ） ※平安建都 1100 年事業で整備されたのが平安神宮。
- ③都市緑化フェアによる整備（けいはんな学研都市の緑化推進の役割を持つ）
- ④貴重な鳥である「オオタカ」の営巣が、街の建設途中で確認され、貴重種の存在によって大規模開発がストップした全国最初の事例となった。芽ぶきの森は、その保全のために現況のままに残された。

◆目的（京都府文章）

『関西文化学術研究都市の建設を記念し、そのシンボルとなるにふさわしい日本の文化や風土を表現した新しい日本庭園として、国際的、地域的な交流の場を提供していきます。また、既存の池及び周辺の山林をそのまま残すなど、「自然との調和」「自然との共生」を目指し、整備された都市公園です。』

◆デザイン方針

「関西の文化らしさを広がりのある空間で表現」という目的のもと、大きなデザインコンセプトとして「里の風景」が選ばれた。大仏の様な大きな文化財ではなく、京都の様な社寺仏閣が立ち並ぶ風景ではなく、この地域の歴史風土である「里の風景」こそがふさわしいという考え方。

無料区域は「里の風景の再現」。水景園の庭園は「里の風景をデザイン」。芽ぶきの森は「里山の保全」が主たる考え方。



3 見学のポイント

- ◆無料区域：懐かしい里の風景を楽しむ。心がなごむ景色として好評。
 - ・普通の公園としては、おそらく全国で初めてである「棚田状の広場」。
 - ・もはや見かけることがなくなった自然的な装いの「せせらぎ」。
 - ・随所に見かかる、土地の仕組みに合った植栽（花）。乾く尾根にはマツを、急斜面には竹林を、緩やかな斜面地には果樹園を、水ぎわにはミソハギ等の湿性植物を、などなど
 - ・春には、梅林や、約 300 本の桜が、日本の春を演出する。
- ◆水景園：市民の利用を前提に作られた現代の庭園です。日本的であり、かつダイナミックな景色を楽しむ。
 - ・日本最大級の石組である「巨石群」。最大 70 トンの石、大小合わせて約 500 個の石組が、日本の荒ぶる景色を表現する。
 - ・永谷池より連なる、ダイナミックな滝組、「水景棚」。棚田の風景をモチーフに水の景色を演出。
 - ・象徴的に、きめの細やかな水流の連続をデザインした「紅葉谷」。棚田状に連なる小池を 130 本ものモミジが彩る。
 - ・日本の原風景をデザインした「里棚田」。春から秋に変化する稲穂の景色、秋の彼岸花、春の果樹の花等が、日本人の心を揺さぶる。
- ◆芽ぶきの森：失われつつある美しい里山、子供のころに遊んだ森の楽しさを体感する。
 - ・春は花。野生のツツジ（コバノミツバツツジやモチツツジなど）を中心に、心に優しい自然の花があちこちに咲く。森の散策ならではの花の楽しみ方を…。
 - ・夏は新緑からこもれびへ。5 月から 6 月にかけて薄緑に染まる森。真夏には優しい木陰の中での散策を楽しむ…
 - ・秋は紅葉と実。関西の里山と言えば落葉広葉樹林。一斉に色づく森と、紅葉を映す水辺の景色を楽しむ。落ち葉を踏んでの散歩もぜひ…
 - ・冬是水鳥。明るい森の散策と一緒に、たくさんの水鳥（カモやオシドリなど）の観察を楽しむ…

4 諸行事

- ◆関西文化を楽しめるサービスとして、五節句をはじめとする日本の伝統行事を行っている。
- ◆また、日本庭園の新しい楽しみ方として、「お庭でジャズ」「アートの展示会」など、様々な挑戦をしている。
- ◆このように、お客様に喜んでいただけるサービスの提供を追究していることも特徴の一つ。

…平成 26 年 9 月 10 日訪問：けいはんな記念公園管理事務所 所長 山口隆史様資料より引用…



ホトギス
(水景園)



ツワブキ
(水景園)



もみじの紅葉
(水景園ほか)



フユザクラ
(水景園)



イタヤカエデ



ジョウビタキ



オシドリ



マガモ

ご案内

【せいか小さな旅】は、22日の9時 集合12時 解散です

第17回の12月22日(月)は…里巡り『祝園七つの森を訪ねて』編

・集合は、9時に「祝園駅西口1階陸橋下」(※集合場所が変わっています)

詳細は、12月号の【華創】に掲載します、ぜひご参加ください

【華創】は精華町ホームページでもご覧いただけます、毎月第1金曜日発行・掲載です

せいか小さな旅の「番外編」を実施します。

番外編 せいか小さな旅

…行事巡り『いごもり祭』編… 暗闇のなか五穀豊穡を祈る 御田の儀

日時:平成27年1月9日(金) ・集合:午後6時30分 「近鉄新祝園駅改札口前」

京都府無形民俗文化財の指定を受ける祝園神社の「いごもり祭」

第二日目(酉の日)のこの日‘御田の儀’が行われます

燃え上がる大松明を担いだ松明奉持者と神主らが、古老の「もうでござい」の発声で祝園神社から「幸の森」の神田に御神幸。行列が進み、神田では古式にのっとった農耕神事を行なわれます。

暗闇の中、神主の鳴らす鈴の音が、村中に響きわたる厳かな儀式です。

※ご注意:「幸の森」でおこなわれる神事は秘事とされ、
そで行われる神事そのものの見学や撮影は禁じられています。



- ☆ 交通ルールの遵守
- ☆ ゴミは捨てずに持ち帰る
- ☆ 通り道の草花は絶対に摘み取らない
- ☆ トイレ等へ行ったり、途中で帰る場合は必ず引率者に連絡する

ふるさと発見の旅 ……いままで案内したところは……

- 第 1 回 『お千代半兵衛の眠る丘からけいはんな丘陵を訪ねて』
- 第 2 回 『木津川沿いを歩く』
- 第 3 回 『古の佇まいの面影を残す精華古道を歩く』
- 第 4 回 『学研都市研究施設を巡り歩く』
- 第 5 回 『山田川流域の里を歴史と文化財の謎を探りながら歩く』
- 第 6 回 『精華町最高峰「^{だけやま}嶽山」にいだかれた里 東畑を訪ねて』
- 第 7 回 『祝園八景を探る旅』
- 第 8 回 『山城の国一揆終焉の地を訪ねて』
- 第 9 回 『南山城三十三所巡り in 精華』
- 第10回 『河井寛次郎がこよなく愛した 菅井～植田の里巡り』
- 第11回 『知っているようで知らない 精華学研都市を巡る旅』
- 第12回 『山城國菱田村絵図でたどる 晩秋の藪の渡しと三つの春日神社』
- 第13回 『桜咲く大坂道を歩こう！ ～山田・乾谷・柘榴の里～』
- 第14回 『殿の松はどこじゃ！南稻八間～東畑里山～旧街道を辿る旅』
- 第15回 春爛漫の里山 巡礼記の道、古墳、いちご園『菱田～僧坊～谷集落を辿る旅』

詳細資料は「精華町ホームページ」に掲載していますのでご覧ください。

・精華町ホームページ ⇒ <http://www.town.seika.kyoto.jp/>

トップ ⇒ 観光・史跡 ⇒ 精華町ふるさと案内人の会 ⇒ ふるさと案内人の会「ふるさと発見の旅」

公益社団法人 精華町シルバー人材センター
ふるさと案内人の会

〒619-0244 京都府相楽郡精華町北稻八間井手ノ元27-1

TEL 0774-98-0510 FAX 0774-98-0670

e-mail seika@sjc.ne.jp